

## 算数オンライン塾 12月9日の問題 解説

---

(1) Aが上りに10分間で行く距離をBは下りで12分30秒かかります。

$10 : 12.5 = 4 : 5$ よりAの上りの速さとBの下りの速さは5 : 4

【1】を流れの速さとすると  $18 - 【1】 : 9 + 【1】 = 5 : 4$

$45 + 【5】 = 72 - 【4】$      $【9】 = 27$ より     $【1】 = 3$

(答え) 3km

(2) AがQについたときから、BがQにつくまで10分+12分30秒=22分30秒の差があります。

Aの下りは21km、Bの下りは12kmですから、速さの比は7 : 4

かかる時間の比は4 : 7ですから22.5分が3にあたるので、Aは  $22.5 \div 3 \times 4 = 30$ 分でQまでやってきました。

したがってBは30分+22分30秒=52分30秒かかります。

(答え) 52分30秒

(3) AはQまで30分です。Aの下りの速さと上りの速さの比は  $21 : 15 = 7 : 5$ ですから、上りには  $30 \div 5 \times 7 = 42$ 分かかります。

72分でBはPから  $12 \times \frac{72}{60} = 14.4$ kmのところにあります。

AとBの下りの速さの差は9kmですから、  $14.4 \div 9 = 1.6$ 時間=1時間36分

72分+1時間36分=2時間48分

(答え) 2時間48分